

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

ブランド化による「前沢型農業」再生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岩手県胆沢郡前沢町

3 地域再生計画の区域

岩手県胆沢郡前沢町の全域

4 地域再生計画の目標

前沢町は岩手県胆沢郡のほぼ南に位置し、人口 15,255 人（平成 17 年 3 月末現在）北は水沢市、西は胆沢町、南は衣川村と平泉町、東は東山町にそれぞれ接している。東西の最長 13.3 km、南北最長 9.0 km で面積は 72.34 平方 km² となっている。北上山地等の一部を除いては、そのほとんどが北上川沖積地と胆沢扇状台地の沃野で、土地利用度の高い恵まれた環境にある。

町の中央を北上川が南流し、その流域両側の平坦地帯と西部高台は、農地として開けた沃野地で、県南屈指の穀倉地帯となっている。前沢米のひとめぼれは 10 年連続特 A と評価されている。

しかし、生活様式が変わるにしたがって、未処理の生活雑排水、工場排水が流入し、河川の水質の悪化が、農産物の品質低下にならないか心配されている。

生活排水を処理するために昭和 58 年から農村地域で農業集落排水事業を、平成 5 年からは公共下水道事業を、平成 2 年度からは浄化槽の個人設置型事業を展開し、平成 16 年度末の汚水処理人口普及率は 71% にまで達成したが、ここ数年普及率が低迷している状況である。

汚水処理施設を一層促進し、北上川、岩堰川、白鳥川等の清流を再生することにより、きれいな水で前沢米、前沢牛の付加価値の高い農産物を生産し、農業の活性化を図りたい。

平坦部の古城地区では経営体育成基盤整備事業でほ場を整備し、前沢米ひとめぼれ前沢牛及び収益性の高い園芸作物を組み合わせた前沢型集約複合経営を展開させようとしている。きれいな水で生育した稲わらを牛に与え、堆肥は耕地に戻す循環型農業を積極的に促進したい。

山間部の生母地区では中山間地域の農業生産者への直接的支援により農地を維持し、

地場産農産物を安定的に生産し、その農産物、前沢牛を材料とするコロッケ加工施設を組合施工で建設し、当該施設において加工された商品の販売までを自ら取り組み、商品は前沢サービスエリア、東京銀座いわて銀河プラザ等で販売されており中山間地域の活性化につなげたいと組合員は活動している。

これを起爆剤に、近年落ち込んでいた農業生産力を回復させ、前沢ブランドを確立し、農産物価格の安定を図り、販売額が拡大することにより農業所得の向上に、ひいては地域経済全体の活性化を図り、前沢型農業の再生を目指す。

【数値目標】

- 1、当初5年間で汚水処理率を90%に向上させる。(現状71%)
- 2、前沢米、前沢牛の販売額の向上(販売額を31億5千万円から34億7千万円に増加)
- 3、農産加工品の販売額の向上(コロッケ等の販売額5千万円を目標とする。)

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

現状71%の汚水処理整備率を90%まで向上させることを目標に、汚水処理施設交付金を活用し、市街地では公共下水道(平成15年1月16日付け下水道事業認可済)、農村地域では農業集落排水、その他の地域においては浄化槽を地域の状況に応じて効率的に整備する。

農業生産基盤整備を推進するため、経営体育成基盤整備事業や中山間地域の農業生産者への直接的支援等により前沢米ひとめぼれ、前沢牛の産地の確立、前沢型集約複合経営を構築する。

汚水処理事業と農業生産基盤整備事業を展開することにより、生活排水が農業用水に流れ込まない清流を確保することによりイメージアップとブランド化を推進し、前沢型農業の再生を目指す。

5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

【事業主体】

- ・ 岩手県胆沢郡前沢町

【施設の種類】

- ・ 公共下水道、農業集落排水施設、浄化槽

【事業区域】

- ・ 公共下水道 前沢町旧前沢、白鳥、上野原地区
- ・ 農業集落排水施設 前沢町古城、白山、天王地区
- ・ 浄化槽 前沢町の公共下水道及び農業集落排水施設区域を除く全域

【事業期間】

公共下水道	平成17年度～平成19年度
農業集落排水施設	平成17年度～平成19年度
浄化槽（個人設置型）	平成17年度
浄化槽（市町村設置型）	平成18年度～平成21年度

【整備量】

・公共下水道	150mm～200mm	6,000m
・農業集落排水施設	75mm～250mm	17,000m
	処理場	2箇所
・浄化槽（個人設置型）	7人槽	3基（平成17年度）
・浄化槽（市町村設置型）	5人槽	40基（平成18年度から毎年10基）
	7人槽	80基（平成18年度から毎年20基）

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

公共下水道	旧前沢地区100人、白鳥地区300人、上野原地区100人
農業集落排水施設	前沢北部2,740人、天王地区270人
浄化槽	300人

【事業費】

公共下水道	470,000千円
	（うち、国費235,000千円）
農業集落排水施設	2,592,114千円
	（うち、国費1,296,057千円）
浄化槽（個人設置型）	1,314千円
	（うち、国費438千円）
浄化槽（市町村設置型）	125,592千円
	（うち、国費41,864千円）
合計	3,189,020千円
	（うち、国費1,573,359千円）

5 - 3 . その他の事業

- (1) 中山間地域の農業生産者への直接的支援
高付加価値型農業の実践、地場産農産物等の加工販売
- (2) 経営体育成基盤整備事業（実施中）
生産基盤整備、土地利用調整組織及び生産組織の構築

6 計画期間

平成17年度から平成21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし状況を調査し、公表する。

なお、整備された污水处理施設については、水質検査、維持管理等が適切に行われていることについて、施設管理者と異なる第三者が行った水質検査等の結果を必要に応じて公表する。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし